

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	救急救命講習事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防			主管課長	高市 薫		

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	市民に対し応急手当に関する正しい知識と技術の普及することを目的とする。
事業内容	応急手当の普及啓発に関する計画を策定し、応急手当指導員及び応急手当普及員の養成や普及啓発用資機材の配備などを図りつつ、市民に対する応急手当の普及啓発活動の計画的な推進に努める。			
事業開始から現在までの状況変化	応急手当の普及啓発に関する計画を策定し、応急手当指導員及び応急手当普及員の養成や普及啓発用資機材の配備などを図りつつ、市民に対する応急手当の普及啓発活動の計画的な推進に努める。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	普通救命講習受講者	795	1,190	1,095	人	↑↑↑
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	救急事案発生時に応急手当を実施している場合（口頭指導も含む）が毎年少しずつ増加している。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 応急手当指導員及び応急手当普及員を養成し、市民に対し普通救命講習を実施している。		
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,435,600	1,397,400	2,222,853			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		1,435,600	1,397,400	2,222,853			
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)				0.50			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画		③取り組みの課題	市民（多くの年齢層）に普通救命講習を受講してもらうことが必要となる。
②今年度(H26)に実施した取り組み		④今後の改善計画	応急手当指導員及び応急手当普及員を増員するとともに、資機材の整備を図り、市民への応急手当の普及啓発活動を推進する。